



中日新聞「リンクト」
LINKED
plus+
病院を
知ろう

SPECIAL REPORT
**コロナ禍だからこそ
重症化させない。**
内分泌内科・耳鼻咽喉科特集

CONTENTS
① Cure 病気のおはなし
② Care 療養支援のおはなし
③ 地域医療を支える新しい力
④ 地域医療の豆知識
⑤ NEWS & TOPICS

Message
院長メッセージ

今回は、コロナ禍だからこそ、慢性疾患を重症化させないということについて特集しました。新型コロナウイルス感染症の流行から2年、不要不急の病気は後回しという風潮から、症状があっても受診しなかったり、途中で治療を中断したりするケースが散見されます。必要なときはきちんと受診することで、ご自身の健康を守ってほしいと思います。

SPECIAL REPORT

コロナ禍だからこそ 重症化させない。

内分泌内科・耳鼻咽喉科特集

慢性疾患を早期発見・早期治療に
繋げることで重症化を防ぐ。



CHAPTER 01

コロナ禍で糖尿病の 治療を中断した結果…。

血糖値400以上、体重減少、多尿・口渴・多飲の症状―。検査結果と目の前の患者の話聞いて、西尾市民病院・内分泌内科医長の川久保充裕医師は、「うーん」と唸り声を漏らした。紹介状によると、この男性は5年ほど前に糖尿病を発症し、かかりつけ医のもとで食事・運動・薬物療法を続けてきたという。最初の2年間はきちんと治療に励み、血糖値を正常な範囲にコントロールしていたが、やがて「もう大丈夫だろう」という本人の思い込みで、受診の頻度が減っていった。その流れに、新型コロナウイルス感染症の流行が追い打ちをかける。不要不急の病気は後回しという空気感や、感染への恐怖心から、治療を完全に止めてしまった。それから2年が経過。最近になって口の渇きや体重減少が気になり、かかりつけ医を受診したところ、血糖値の急激な上昇が見つかり、西尾市民病院に紹介されてきたのだ。

川久保は患者に、インスリン療法を含めた治療を提案した。糖尿病は膵臓から出るインスリンが十分に働かないために、血糖値が上がってしまう病気。放置すると、血管が脆弱になり、脳梗塞や心筋梗塞などを引き起こすリスクがある。インスリン療法は、インスリン製剤を自己注射して体の外から補う治療法だ。「通院を止めていなかったら、ここまでの高血糖にはならずに済んだ

かもしれない。合併症の進行がないか不安です」と川久保は悔やむ。コロナ禍が長引き、こうしたケースが増えているという。

糖尿病の治療について、「実は、診断されたときの初期対応が非常に重要」だと川久保は言う。「健康診断で見つかったら、初期段階なので少量の薬を飲んで治療、というのではなく、最初に病気についてしっかり理解していただくことが重要です。その上で、適切な食事・運動・薬物療法を行うことで、10年、20年後の健康が大きく変わってきます。糖尿病の診断と合併症の精査と並行し、患者さんが自分の病気を理解した上で、生活習慣の改善や薬物療法に自発的に取り組めるような治療プログラムを、地域の診療所の先生方と一緒に作っていききたいですね」。

COLUMN

●西尾市民病院の内分泌内科では、通院患者に「糖尿病連携手帳」(日本糖尿病協会発行)を渡して、活用を促している。この手帳は、診察時の血糖値、血圧、体重などを記入でき、合併症を含めたこれまでの経過を、ひと目で把握することができる。

●この手帳を持つことで、自身の健康管理・生活習慣の改善に役立てることができる。また、病院や診療所の受診時に提示することで、これまでの状況に配慮した適切な治療を受けることができる。



CHAPTER 02

重大な病気を見逃さず 適切な治療へ繋げるために。

コロナ禍で症状が悪化するのには、内分泌内科の患者だけではない。耳鼻咽喉科でも、懸念される疾患があるという。「毎年、一定の割合で喉頭がんの疑いのある患者さんが来院されます。それが、新型コロナウイルスの流行以降、一人も来なくなり、心配しています」。そう話すのは、耳鼻咽喉科部長の田中宏明である。

喉頭がんは、気管から肺へと空気を送る通り道(喉頭)にできるがん。喉頭がんを発症すると、声がれが続く、しだいに息苦しさ、血痰などの症状が出てくる。「早期であれば、当院で放射線治療を行い、喉頭を温存できます。でも、進行すると、近隣の高度急性期病院に紹介し、喉頭を取り除く手術を検討することになります」と田中。喉頭がんの他、咽頭がん、舌がん、鼻腔、副鼻腔など耳鼻咽喉科領域のがんは数多いが、どれも受診する患者がほとんどいないという。

BACKSTAGE

慢性疾患を重症化させない という市民病院の使命。

●慢性疾患がひとたび重症化すれば、さまざまな合併症を引き起こし、高度急性期病院での手術治療などが必要になる。そこまで重症化させないように管理する役割を担うのが、市民病院である。

●普段の健康管理は診療所の医師が担い、定期的に市民病院の専門医がフォローアップすることで、慢性疾患をうまくコントロールできる。西尾市民病院はこれからも、病診連携を軸に市民の健康を守っていくとしている。



では、こうした疾患を治療へ繋ぐにはどうすればいいだろうか。「大切なのは、気になる症状があれば、コロナ禍でも受診をためらわないこと」と田中は言う。「たとえば、喉頭がんは、鼻から内視鏡(ファイバースコープ)を入れて観察すれば、すぐ病巣を見つかります。苦痛の少ない検査で診断できるので、安心して来てほしいですね」。新型コロナウイルス感染症は、がんや生活習慣病などの持病があると重症化しやすいこともわかっている。そういう意味でも早めの受診が大切だといえるだろう。一方、川久保は少し先の未来に思いを馳せる。「慢性疾患を早期発見・早期治療に繋げるような治療体制を、地域で作っていただければ理想的だと考えています。専門医とかかりつけ医、そして、多様な領域の診療科を結ぶネットワークを作り、慢性疾患を重症化させない、重大な合併症を引き起こさないような仕組みを作っていきたいですね。当院がその推進力となるよう、さらに緊密な地域連携を推進していきたいと思っています」。

キュア
Cure

病気の おはなし



先生、
教えて！

テーマ

睡眠時無呼吸症候群

単に呼吸が止まるだけではなく、
脳・血管・心臓への負担が大きい病気。
でも、抜け出す治療があります。

まずは自宅で観察。無呼吸の回数を数えてみましょう。

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠時に何回も呼吸が止まる病気。症状には、大きないびき、何度も夜間に目が覚める、起床時の頭痛、集中力の低下などがあります。この病気の注意点は、単に呼吸が止まるだけではなく、脳や血管、心臓に負担をかけること。脳卒中、高血圧、心不全などを引き起こすリスクが高くなります。

睡眠時無呼吸症候群には2タイプあり、一つが、上気道の閉塞による閉塞性睡眠時無呼吸。肥満や、生活習慣病患者さんに多く見られます。もう一つは、呼吸中枢に障害が見られる中枢性無呼吸。8割～9割が前者のタイプです。

症状が気になる場合は、飲酒せず、極端に疲労していない日を選び、睡眠

中、10秒以上の無呼吸が何回あるかご家族の協力も得て観察しましょう(動画撮影でも可)。1時間で5回以上なら受診をお勧めします。10～20回以上なら必ず受診してください。

眠るとき、CPAP(鼻マスク)を装着するだけの療法。

受診すると、まず喉や鼻に形態異常や腫瘍がないことを確認します。ある場合は手術、ない場合は自宅でできるスクリーニング検査となり、酸素濃度の低

下、酸素飽和度の測定をします。この検査で無呼吸低呼吸指数が40以上なら、すぐに機器による治療を開始。20～40なら一泊入院での終夜睡眠ポリグラフ検査を行い、睡眠中の脳波や呼吸状態、血液中の酸素状態などを調べます。

無呼吸低呼吸指数が20以上での機器による治療は、持続的陽圧呼吸療法です。眠るときにCPAP(鼻マスク)を装着するため、最初は気になるかもしれませんが、すぐに慣れて、睡眠時の無呼吸が無くなっていきます。最も合併症が少なく有効な治療方法です。



Message

医師からのメッセージ



耳鼻咽喉科 部長
田中宏明

良質な睡眠で過食を防ぎ、体重を減らすことが大切です。

人は、疲労が大きくなると、生命の危機を感じることで、遺伝子に組み込まれています。危険を感じた脳は、しっかりと食べなくてはと考え、疲れたときほど食べ過ぎる。それが肥満に繋がり頸部に脂肪が多くなると、閉塞性睡眠時無呼吸を引き起こすこととなります。上記でご紹介した持続的陽圧呼吸療法は、睡眠時の無呼吸を起こさない有効な治療法です。CPAPを装着することで睡眠時無呼吸症が起きず、良質な睡眠が得られた結果、翌日は疲労が少なく、食べ過ぎない。この繰り返しにより体重が減り、睡眠時無呼吸症から抜け出すことができます。脳や血管、心臓の病気を防ぐためにも、夜のいびきがすごいと言われたら、ぜひ耳鼻咽喉科を受診してください。

療養支援 のおはなし

病気を
治すだけじゃ
ありません。

テーマ

慢性呼吸器疾患の看護

大切なのは、病気とのきちんとした
付き合い方。患者さんと一緒に、
より良い方法を探っていきます。



01 患者さんの心情に寄り添い、
専門的な知識と技術をご提供。

慢性呼吸器疾患は、適切な治療を受けるとともに、一人ひとりに合った看護支援を受けることが、とても大切です。なぜなら、慢性呼吸器疾患は、状態が良いときと悪いときを繰り返し、少しずつ全身状態に影響を与えていくもの。日常生活において、どうしても活動範囲が狭くなる。周りの人からの手助けを必要とする。さらには、入退院を繰り返すことなどから、悲しみや寂しさ、もどかしさを感じる人も少なくありません。

そうした心情に寄り添うのが、看護師です。なかでも慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、専門的な知識と技術で、少しでも安定期を長く過ごすための支援を提供することができます。

02 自宅で困らないように、
生活の「編み直し」をする。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師の役割は、ご自宅での生活の「編み直し」にあります。編み直しとは、病気が進行した場合、一度、入院をして態勢を整え（編み直し）、ご自宅に帰って困らないようにすることをいいます。もちろん、患者さんによって症状や生活背景は異なるため、個別性を重視した活

動が前提です。

なかでも、病気の進行に伴い、在宅酸素療法をしている方には、なぜ今回入院が必要になったのか、どこが苦しいのかを明らかにし、今使っている在宅の酸素が、患者さんに適しているのかどうかの判定、また、食事や呼吸法といった生活改善の工夫などを指導。患者さん、ご家族が納得した上でご自宅に帰ることができるよう、専門的な看護視点でサポートを行います。



Message

私たちが支援します



青山 理
(慢性呼吸器疾患看護
認定看護師)

病気のサインを見逃さず、早め早めの対応が何より大切。

慢性呼吸器疾患は、治療により症状が改善して楽になっても、残念ながら、元気な頃と全く同じ状態に戻るといったことはありません。だからこそ、病気とのきちんとした付き合い方が大切であり、認定看護師として、そのための道筋をご提供できるよう努めています。

例えば、咳や痰が多くなった、熱が出ているなどの症状があります。その一つひとつが、今の状況を表すサイン。我慢をしないですぐに外来診療を受診する、必要に応じて入院をするなど、早めの対応が大切になります。認定看護師としては、市民公開講座、院内外の学習会などを通じた、情報発信にも注力しています。慢性呼吸器疾患の理解向上への一助となることを願っています。

地域医療を支える

新しい力

チカラ

対談企画

初期臨床研修医

新人看護師



厳しく、やさしい環境で、未来に挑戦し続ける。



研修医1年目の麻植先生、入職2年目の杉浦看護師、今はどんな日々を過ごしていますか？

※医師は医学部を卒業し医師免許を取得後、2年間の初期研修が義務づけられています。

麻植 まずは先輩からどうぞ！

杉浦 先輩だなんて(笑)。内科系の5東病棟に勤務しています。若いうちに、内科での看護の知識・技術を頭に叩き込むために、今はひたすら仕事に没頭しています。麻植先生は、脳神経外科での研修でしたね？

麻植 もともと関心を持っていた診療科でしたから、症状や治療の一つひとつを、とても興味深く感じながら学ぶことができます。ただ、複合疾患を抱える方もいらっしゃるの、他の診療科も、しっかり学びたいとは思っています。

杉浦 病棟の先輩看護師は、とても知識が深く、私はいろいろと教えられ、助けられることが多くて有り難いのですが、麻植先生はいかがですか？

麻植 同じですね。上級医の先生も、すぐ上の先生も、すぐく親身に教えてくださる。厳しくて、やさしくて、人間関係もとて

もいい。これは当院全体に言えることですね。



将来については、どんな抱負を持っていますか？

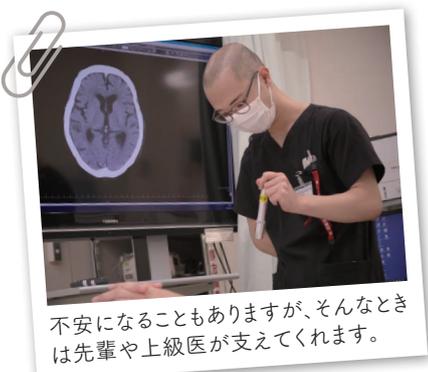
杉浦 患者さんにとって、入院生活では自由の利かないことがあると思うんです。そうした患者さんの気持ちに寄り添い、些細なことでも気づいて、できる限り患者さんの要望を叶えて差し上げられる看護がしたいと思います。

麻植 僕は1年目なので当たり前かもしれませんが、次々に新しいことが出てくるんですね。壁の次に、また壁という状況です。でも、乗り越えるしかない。とにかくしばらくは、壁に挑戦し続ける医師でいたいと思います。

杉浦 挑戦し続ける——。良い言葉ですね。

麻植 いえいえ。もっと先に目を向けるなら、患者さんから頼られる医師になりたいですね。

杉浦 それは私も同じ。患者さんから信頼される看護師でありたいと思います。



初期臨床研修医(1年目)
麻植啓介(おえけいすけ)

徳島県小松島市出身。人の温かみがある西尾市に密着しているこの病院が好きです。

新人看護師(2年目)
杉浦史(すぎうらふみ)

愛知県西尾市出身。先輩の良いところは、全部学び取りたいと思っています。

こんな言葉知っていますか？

地域医療の 豆知識

M A M E C H I S H I K I

テーマ

病院機能評価

今回は
〈病院機能評価〉に
ついて学びましょう



目的は、医療の質と安全の向上。
第三者が中立的・学術的に、
病院の機能(活動)を評価します。

病院機能評価は、医療の質と安全の向上を目的に、第三者である公益財団法人日本医療機能評価機構が、個々の病院の医療を評価するもの。病院の医療機能(活動)が、適切に行われているかどうかを、中立的・学術的な観点から評価するとともに、改善すべきポイントを具体的に示していきます。同機構が設立されたのは、平成7年。翌8年から評価活動が実施され、全国8,227病院のうち、2,075病院(令和3年7月30日現在)が認定を受けています。

実際の評価は、書面審査と訪問審査とがあり、訪問審査では専門のサーベイヤー(調査員)が複数で病院を訪れ、院内各部署を実地調査します。評価対象は、1領域「患者中心の医療の推進」、2領域「良質な医療の実践1」、3領域「良質な医療の実践2」、4領域「理念達成に向けた組織運営」の4領域。それぞれに大項目・中項目があり、その一つひとつを評価していきます。

認定基準を達成していると、同機構からの認定を取得できますが、それがずっと継続されるわけではありません。認定期間は5年であり、更新のための受審が必要となります。

西尾市民病院では

4回目の認定更新！ より良くなるためには、日々の努力こそが何より大切。

当院は、令和3年3月5日付けにて、病院機能評価の認定を受けました。最初の認定は平成17年。今回で4回目の認定となります。受審した機能種別は、一般病院2で、「主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院」です。

受審には、1年以上前から委員会を設置し、27名の委員を中心に準備を進めてきました。重点を置いたのは、第一に「患者さんの権利」。患者さんの視点に立ち、私たちがどのような医療サービスを提供できるかを、全員で検討しました。第二は、「チーム医療」。患者さんのために、多職種が他部署といかに連携するかに力を入れました。

受審準備と前述しましたが、正確に言うと、前回の認定以来、各部署が改善を繰り返し努力したところに、もう一

段階、より良くなるために総点検をするという活動です。かなり力を尽くした上で、もう一つ力を出す。これは日々の多忙な業務遂行のなかで、なかなか難しいことではありますが、一日一日努力していくことが非常に重要であり、その集大成として病院機能評価に結びつくものと考えます。

当院は今後も、患者さんの声、職員からの提案にしっかりと耳を傾け、地域と職員とが一体となって、より良い市民病院をめざしていきたいと思います。

病院機能評価受審
プロジェクト委員会 委員長
内科 部長
大野城二



産婦人科(婦人科)外来で、女性特有の悩みを相談できます

令和3年4月から、産婦人科に前田修医師が着任し、非常勤医師とあわせ3名での診療体制となりました。月経異常や更年期障害などのホルモン療法を行うほか、良性腫瘍(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍)については、対応可能な範囲で十分な説明をもとに治療を行っています。

また、万一がんだった場合も、当院で可能な限り早く診断し、病状を評価した上で他院にご紹介させていただくなど適切な対応をいたします。女性特有の気になる症状や悩みがありましたら、遠慮なくご相談ください。

Doctor's Message

こんにちは。令和3年4月から産婦人科の常勤医として着任しました前田修です。女性特有の症状に悩んでいるもの「診察がはずかしい」「何となく行きづらい」と、受診をため

らっていませんか? 体のサインに耳を傾け「おかしいな?」と思ったら、ちゅうちょなく受診してください。一人ひとりの話を丁寧に伺い、わかりやすくかみくだいてご説明します。



産婦人科部長 前田 修

昭和62年医師免許取得。

名古屋大学医学部附属病院、愛知県がんセンター、刈谷豊田総合病院、名城病院などに勤務。令和3年4月より現職。

こんな症状、こんな悩みはありませんか?

少しでも異常を感じたら
迷わず受診を!

		担当医	備考
産婦人科 診療日	月	前田 修	
	火	新美 薫(女性医師)	9時30分~
	水	前田 修	
	木	松澤 克治	9時~
	金	前田 修	

※診察受付時間は8時30分~11時です。



産婦人科の診療科情報はここから

看護師募集中!

お気軽にお問い合わせください。

安心して働ける
サポートがあります。お問い合わせ先 西尾市民病院 事務部 管理課 職員担当
0563-56-3171 (内線2286)

病院広報誌 特設サイト



こちらから



地域の皆さんや連携機関の皆さんと「西尾市民病院」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。



LINE〈公式〉アカウント

病院広報誌「Ciao」のLINE〈公式〉アカウントを開設しました。QRコードから「友だち追加」をお願いいたします。



西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL

〒445-8510 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地

TEL 0563-56-3171(代表) URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/>9 2021
月号 No.07発行責任者/院長 禰宜田 政隆
発行/西尾市民病院
記事提供/中日新聞広告局
編集協力/プロジェクトリンク事務局
発行日/2021年0月00日